

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 4月 28 日

事業所名 ブロッサムジュニア上越大手町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3	パーテーションや絵カード等を使用し、構造化された環境設定を行っています。	・建物の構造上の問題(階段や段差等)があるため、階段にマットを貼るなどの工夫をしています。今後も、お子様の様子を確認したり、保護者様からのご意見をお聞きしながら、安心、安全に利用できるように、適宜、環境調整を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・清掃、消毒は丁寧にしています。 ・構造を考え、動きやすい環境づくりを行っています。	・トイレ介助のスペースの確保や、衛生・不衛生の別の水場があった方が良いと感じています。 ・構造上の問題(見通しの良い部屋作りや階段のない建物、中心の柱が危険など)があるため、お子様が安全に利用できるように、適宜、できる方法を工夫し、環境調整を行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	・時間をつくり話し合いを行っています。	・教室の職員のみで話し合っているだけでは不十分であるため、事業所全体での目標設定も明確にし、具体的な行動指針を打ち立て振り返りを行うように検討していけると良いと思います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		・今年度立ち上げた事業所であるため、今回がアンケート初実施となります。今後は、毎年アンケートを実施し公表していきます。 ・アンケートでいただいたご意見は、今後の業務改善につなげていきたいと考えています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		・第三者による外部評価は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	・様々な分野の研修を受講することで日頃の支援に活かせるよう努めています。	・令和2年度はコロナの影響もあり、外部研修の機会が少なかったです。令和3年度は、リモート研修なども含め頻繁に受講できるように調整していきます。 ・大きな研修に参加しやすいように、研修費の補助などを要望していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・子どもの個性や特性を理解し、親子のニーズや思いに寄り添う計画を作成しています。 ・家庭や園、こども発達支援センターの情報も含め、子どもさんの課題に沿った計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		・現在、標準化されたアセスメントツールは使用していません。今後、標準化されたアセスメントツールの使用等を検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・ひとり一人の成長過程や能力、親子のニーズなど確認し合い、活動プログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・支援内容の詳細を記録し、いつでも振り返ることで次回へのプログラムステップに繋がるよう工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		・令和2年度は、同時間帯の利用人数が1名～2名であったため、集団活動プログラムは不十分でした。今後も、お子様の状況や利用人数に応じて集団活動や個別活動を適宜検討、設定していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・支援前の役割分担、気を付けるべき支援内容、安全確保の確認事項を毎日共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・毎日気付いたことを気軽に話し合い、支援記録や職員間ノートに申し送り事項を記入することで、常に情報共有に努めています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・支援内容だけでなく、支援中の子どもの様子変化など詳しく記録し、検証改善につなげています。	-

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		・現在、医療的ケアが必要なお子様は利用していません。今後、医療的ケアのお子様のご利用がある場合には、他機関との連携を図っていきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	・令和2年度には、子ども発達支援センターの研修を受講させていただきました。	・今後も研修の機会がある場合には、積極的に受講していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4		・保育所のお子様との活動の機会は、特別設定していません。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		・上越市の自立支援協議会に子ども部会がないため、現在、参加実績はありません。今後、自立支援協議会への参加の機会があれば、参加を検討していきます。放課後等デイサービス連絡会には、事業所の代表が参加しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・家庭生活での様子や変化を傾聴し、教室で「できた喜び」を伝え合うことで、ニーズや思いに寄り添う支援に繋がっています。 ・直接会えない親御さんにもHUGやLINEで伝えています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		・現在、ペアレントトレーニング等の専門的支援プログラムの実施はありませんが、今後、保護者様対象の研修会などの実施を検討していきます。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・わかりやすい所に掲示しています。	-

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		
	35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		・令和3年度は、会報等による活動報告において、児童発達支援における具体的な活動内容も掲載していきます。
	37 個人情報の取扱いに十分注意している	6	1		・個人情報の取り扱いには、細心の注意をはらっていきます。 ・見学等で来室した方に、同意書（個人情報流出防止）にサインをもらうなどの方法も検討していきます。
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・視覚的、身振り手振り、手話なども取り入れ、それぞれ個々に合った伝え方に配慮しています。	
	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	4		・感染症については文書を配布していますが、緊急時対応等のマニュアルについては、現在作成中です。作成後、皆様に説明し、周知していきます。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	6		・職員間で非常災害時の対応についての話し合いはしていますが、実際の訓練はできていません。令和3年度は、避難訓練を年2回程度実施予定です。避難訓練実施後には、皆様にお知らせします。また、災害時に必要な備蓄品なども準備していきます。
	41 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	・ご家族から、薬の処方箋を提出いただき、注意点などを細やかに確認しています。 ・てんかん発作のあるお子様は、発生時の対応方法などをご家族や学校などと情報共有しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・ご家族からの申し出により対応しています。	・現在、食物アレルギーのあるお子様の利用はありませんが、今後、アレルギーのあるお子様がご利用の場合には、保護者様との情報伝達を細やかに行い丁寧な対応をしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	・再発防止の為、対策・改善点を話し合い共有しています。	・今後も、ヒヤリハットの記録を徹底的に行い、事業所内で情報共有し、大きな事故や怪我に繋がらないように、再発防止のための話し合いを実施していきます。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3	・ミーティングの時に話し合っています。	・令和3年度は、虐待防止の研修を職員全員が受講予定となっています。また、日々の支援の中での声掛けや対応方法などにおいて、虐待防止の観点から気づいたことがあった時にはすぐに話し合えるように、職員の関係性を大切にしています。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	3	・現在、身体拘束を伴う支援は行っていません。	・身体拘束が必要な場合については、職員間で話し合いを十分に行い、些細なことでも個別支援計画書に記載し丁寧に説明させていただきます。また、事業所全体でも、身体拘束についての共通理解を深め、対応方法等を検討していく必要があると考えています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。